

(5) コンクリート二次製品

ヒューム管

記事提供：全国ヒューム管協会北陸支部

新潟・富山、2県の出荷状況

令和5年度10月～12月期の出荷量は、新潟県は前年比400t増で1,100t、富山県は前年比100t減の900t、2県の出荷量合計は2,000tで前年同期比18%増となった。

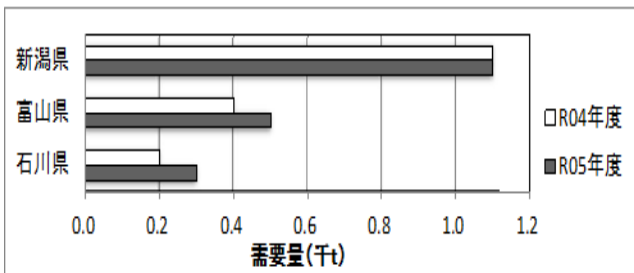
また、令和5年度累計では、新潟県は前年比1,000t減で2,500t、富山県は前年比300t増で2,900t、2県の累計出荷量合計は、5,400tで前年比11%減となった。

新潟・富山・石川、3県の需要動向

令和5年度10月～12月期の3県需要の合計は、1,900tで前年同期比12%増(200t増)となっている。県別では、新潟県が増減無し(±0t)、富山県が25%増(100t増)、石川県が50%増(100t増)であった。

尚、令和5年度累計需要合計は、新潟県が30%減(1,300t減)、富山県が58%増(700t増)、石川県が33%減(200t減)となり、北陸3県全体で5,400t、前年同期比の87%(800t減・13%減)となった。

ヒューム管需要量の推移(10月～12月期)

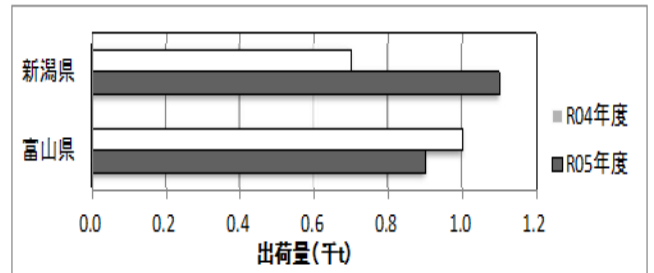


(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和4年度 年計	令和5年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	4	▲45	▲31	0	▲100	▲30
	5.0	1.1	0.9	1.1	0.0	3.1
富山県	▲21	67	80	25	▲100	58
	1.5	0.5	0.9	0.5	0.0	1.9
石川県	50	▲100	▲67	50	▲100	▲33
	0.9	0.0	0.1	0.3	0.0	0.4
3県計	1	▲33	▲10	12	▲100	▲13
	7.4	1.6	1.9	1.9	0.0	5.4

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社

ヒューム管出荷量の推移(10月～12月期)



(上段：前年同期比%、下段：千t)

県	令和4年度 年計	令和5年度				
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	0	▲53	▲45	57	▲100	▲29
	4.0	0.8	0.6	1.1	0.0	2.5
富山県	0	14	33	▲10	▲100	12
	3.3	0.8	1.2	0.9	0.0	2.9
2県計	0	▲33	▲10	18	▲100	▲11
	7.3	1.6	1.8	2.0	0.0	5.4

(注)・上段は前年同期との比較
・集計は、会員5社のうち5社
・石川県には、工場無し
・新潟県・富山県の在籍工場分を集計(3県以外への出荷を含む)